

かわらばん

第16号
12/3/19
発行

発行：あしや市民活動センター（指定管理者：(特活)あしや NPO センター）
〒659-0064 芦屋市精道町 5 番 11 号

□セミナー開催報告 ・助成金セミナー ・就業相談会	1 面	□ボランティアマッチング交流会 □相談会 ・NPO 定例相談 ・マンション（分譲）管理運営無料相談	4 面
□NPO と行政のラウンドテーブル	2～3 面		

ボランティアマッチング交流会

- 日時：平成24年3月22日（木） 13時30分～16時00分
 - 場所：あしや市民活動センター
 - 内容：特技を活かして活動したいグループや個人と、行事やイベントの開催に協力してもらいたいボランティアを求めている各種施設・団体とをつなぐマッチングの場です。
 - 対象：
 - ・市民活動センター登録の特技ボランティア（楽器演奏・歌・マジックなど）
 - ・技能を身につけたいボランティア
 - ・ボランティア活動に興味のある方
 - ・芦屋市内の高校生、大学生
 - 受入団体：特技ボランティアを求めている各種福祉施設および市民活動団体
 - お問合せ：あしや市民活動センター
- TEL：0797-26-6452/FAX：0797-26-6453/mail：aia@ashiyanpo.jp

定例NPO相談会

毎月第4火曜日/午前10時30分～午後3時
(※祝日はお休みです)

- ◆ご相談をご希望の方は、ご連絡ください。
※日程が合わない方は、別途ご連絡ください。
- ◆こんな方をお待ちしています
 - ・NPO 法人格を取得して、今活動している市民団体を活性化したい！
 - ・NPO 法人やボランティアグループの運営に課題がある。
 - ・ビジネス経験を活かして、新たなソーシャルビジネスを起業したい。

マンション(分譲)管理運営定例相談会

毎月第1・3木曜日/午前10～12時

芦屋市の分譲マンションの役員、区分所有者、マンション購入希望者の方がお持ちの疑問や悩みなどの相談を無料でお聞きし専門の相談員がアドバイス致します。

- 事前予約制ですのでお電話にてお申込下さい。

TEL.0797-38-6841

■平成24年2月に開催したセミナーのご報告です。

セミナー報告

助成金セミナー

- ◆日時：2月16日(木) 13:30～16:30
- ◆内容
 - しみん基金KOBÉ事務局長：江口聡さんによる助成金獲得の6つのツボ
 - (財)木口ひょうご地域振興財団による助成金情報の提供
 - 個別相談
- ◆参加者は9名でしたが、熱心に講義を聴かれて、個別相談も受けられました。講師の話がわかりやすかったということと、早速積極的に申請を検討したいという声が上がっていました。



合同就業相談会

- ◆日時：2月23日（木）10:00～16:30
- ・求人職種：企業・NPOの求人各種
- ・求人エリア：芦屋・神戸・阪神間
- ◆内容：起業セミナー/セカンドライフセミナー/キャリアカウンセリングブース/応募書類作成ブースなどが設けられました。
- ◆共催団体：NPO 法人あしやNPOセンター
兵庫県シルバー人材センター協会
生きがいごとサポートセンター神戸東
生きがいごとサポートセンター阪神南



あしや市民活動センター

□利用の案内

- ・利用時間：午前10時～午後5時(月曜日～土曜日)
- ・休館日：日曜日・祝日(国民の休日)・年末年始

□アクセス

- ・精道小学校北側 旧消防署の北の道を東に100メートル
- ・「阪神芦屋駅」・阪急バス「阪神芦屋停留所」から東に徒歩2分

□連絡先：

〒659-0064 芦屋市精道町5番11号
TEL：0797-26-6452 FAX：0797-26-6453
Eメール：aia@ashiyanpo.jp



市内中間支援団体交流事業

NPOと行政のラウンドテーブル

■平成24年1月27日（金）芦屋市役所分庁舎2階大会議室において、市内中間支援団体交流事業として、『NPOと行政のラウンドテーブル』を開催しました。

平成23年7月22日（金）に開催された中間支援団体交流事業『All Ashiya 交流会'11 夏』では、行政と共に取り組みたいことについて分野別で議論されました。それを受けてこれからの協働について、行政と同じテーブルに着き対等な立場で一緒に考えていくことが今回の開催目的でした。

「子育て」と「まちづくり」をテーマとしました。ラウンドテーブル参加者がNPO17人、行政8人、傍聴者がNPO延べ40人、行政5人、コーディネーターなど運営スタッフが6人、合計76人の参加で行われました。

■タイムスケジュール

- 13:30～13:40 全体会議 市長挨拶及び趣旨説明
- 13:40～15:00 テーマⅠ 子育て
- 15:00～15:10 休憩
- 15:10～16:30 テーマⅡ まちづくり



山中市長による主催者挨拶



「子育て」の行政側出席者

■神戸の中間支援団体「NPO 法人コミュニティサポートセンター神戸」の國枝哲男さんの進行で、まずは子育てをテーマに活動紹介も含めた自己紹介からスタート。

子育てにおいて、気になる現状としては、居場所がないか、あるいは少ない。あっても使いにくいなど、居場所について意見交換されました。

そして居場所はどこにでもできる。周りが子育てのソフト環境をいかに創るかで未来の子どもが育っていくと地域での子育てを考える「地域コーディネーター」の存在が重要視されることが解決の糸口となるのではないかと提案されました。



熱心に耳を傾ける傍聴参加者



「まちづくり」の行政側参加者

■まちづくりでは、世代間を超えてお互いを支え合うまちづくりのグランドデザインをしていくことを目標としていくことが提案されました。

行政側からは、地域福祉計画の見直しの中で「助け上手、助けられ上手」になる仕組みづくりが必要との意見がありました。

また、まちづくりの役割を担っている自治会を元気にするための地域コーディネーター養成に取り組み始めるとの提案もありました。



子育てを環境の視点からみると、生きていく上での自然環境が一番大切なことであり、あしや村（旧野外活動センター）の活用なども「地域コーディネーター」がサポートすべきテーマではないでしょうか。安全な環境を親子で学ぶ講座も開催されており、それぞれの地域で住んでいる人達が、学びで自然を守る意識を高める事が大切との意見が出ました。

行政からは、すでにNPOや大学生に協力してもらってイベント、事業を実施していますと協働の事例の紹介がありました。



■まとめ

- 時間・空間・仲間…の三つの間が協働の推進を円滑にしていく要素。
- 中間支援団体が、行政と協働して地域コーディネーターを育成する役割を担う。
- プロボノパブリカ(*)は、市民活動のこれからのスタイル。

※**pro bono publico** ラテン語「公共善のために」を意味する各分野の専門家が、職業上持っている知識・スキルや経験を活かして社会貢献するボランティア活動全般。

NPO側の思いとそれに応える行政の思いが交換され、空間を共有している一体感により、共感が生まれました。

「話せばわかる」というコミュニケーションの原点を体験できた一日でしたが、これが出発点として、だれもが住み続けたい芦屋を目指して、協働のスタイルを模索していければいいですね。